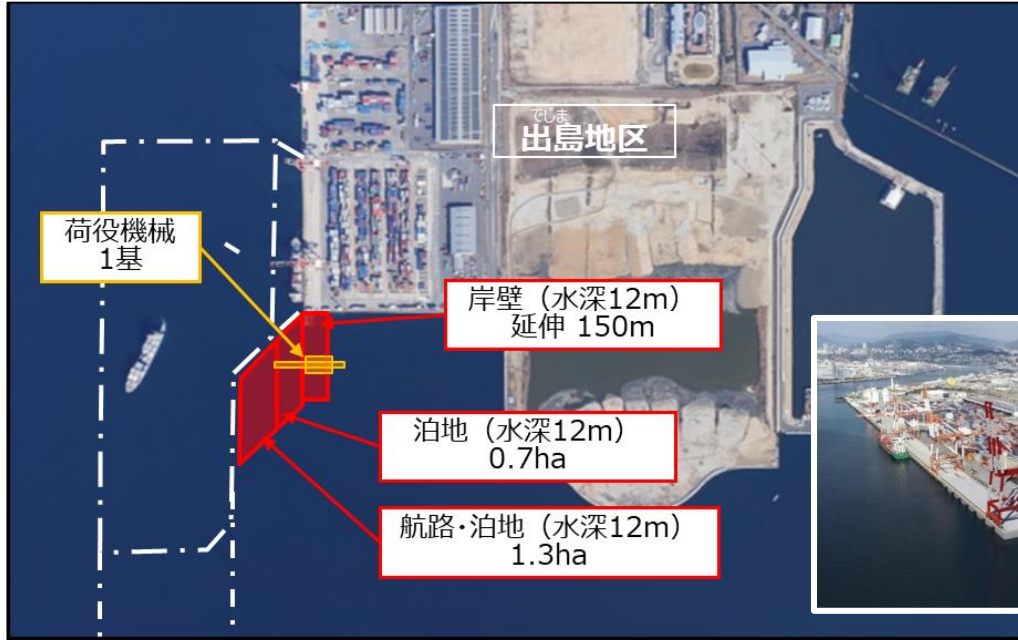


広島港出島地区国際海上コンテナターミナル整備事業（出島地区）

【事業目的】

広島港出島地区において、岸壁延長の不足に対応したターミナル整備を行い、中国・韓国航路のコンテナ船の大型化や東南アジア航路の新規就航を可能とすることで、背後企業の増産に伴う貨物需要に対応する。



【事業内容】

直轄：岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、航路・泊地(水深12m)
起債：荷役機械

【事業期間】

令和4年度～令和7年度（予定）



【整備により期待される効果の一例】

ダイレクト輸送による海上輸送コスト削減（コンテナ貨物）

広島港から東南アジアへの直行便が利用できることにより、海外でのトランシップ※が回避され、海上輸送コストが削減される。

※トランシップ・・・荷物の積み替え

